

令和2年12月22日

イベント学会会員各位様

イベント学会編集委員会  
「堺屋根太一前会長追悼特集記事」編集担当理事 宮本倫明

イベント学会機関誌『イベント学研究』第4巻  
堺屋根太一前会長追悼特集 ご寄稿のご案内

拝啓

師走の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

当学会の会長職を長年にわたり務められた堺屋根太一氏が鬼籍に入られて、2年近い月日が経ちました。その間、元号が改まり、いくつかの自然災害もありましたが、今年は年初より、大方の誰もが予想もしなかった世界的なパンデミックに見舞われ、東京オリンピックが延期となったのをはじめ、人を集める“イベント”という存在そのものに甚大なる影響を与える事態が、今この現在も進行中であります。

堺屋氏ならこの状況をどう捉え、いかに乗り越えるべく行動されたであろうか。その様な妄想をしてみたくなるほど、氏は独自の奇抜なアイデアで時代を切り拓いて来られました。来年に延期されたオリンピック・パラリンピックはどの様に開催すべきなのか、2025年開催の大阪・関西万博は何を世界に伝えるべきなのか、氏に尋ねることは叶いませんが、せめてその一端に触れるべく堺屋氏と様々な接点のあった方々に、追悼の意を頂戴しつつ、誌上において氏を彷彿させる特集を組みたいと企図いたします。

年の瀬も押し迫る時期に、また新型コロナの感染拡大の中で、なにかとご多用とは存じますが、下記により追悼文を募ります。ご寄稿いただける方は是非ともよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

- ・ イベント学会役職以外に記載ご希望のご所属・肩書
- ・ 本文：800字以内
- ・ 本文と関連する写真、図表など（1点）
- ・ 原稿締め切り：2021年1月31日

以上